

## 22 小役人

「わが区の死亡率がなぜ低いのかわかりますかい」

ヘザバード市の小役人ビックスが言った

「それはですな 下水設備のおかげなんすよ

特に排水口がすこぶる付きでね

一度どえらい目に遭いましてね

まあこんなこつてすわ」と信頼置けるその小役人は言った

ある八月の夕方 あっしは真っ白な制服を着て  
ヘザバードの受け持ち区域の巡視にでかけたんすよ  
しばらくして あっしの馬がいやなものを見たんでさ  
軍用象が一頭 大通りをこっちに向かってきたんすよ

象使いはいない とっさに浮かんだことは  
急に暴走発作を起こした雄象じゃないかということよ 5  
こいつにはでくわしたくないよね でも馬車から降りられねえ  
そこで馬の好きなようにさせ そのまま町に向かったんすよ

馬車は新車 ダイクス社はたいしたもんさ びくともしない  
そのうち馬は 下水処理場の真上で 象を飛び越えたんすよ 10  
つぎに覚えていることといや 象のものすごい吼え声  
五フィートもあろうかという自慢の車輪を爪楊枝つまようじにしやがった

あっしを象使いと思い殺やる気らしい 怖くなって必死で逃げたね  
中央汚水排水口めざして逃げたね もう耳元にきゃつの鼻息が聞こえる  
直径四フィートもある排水口に飛び込んだ 中は真っ暗で絶望的さ 15  
奴の鼻が あっしの恐怖で逆立った髪をさわってやがる

象の奴もう少し上かみに進もうとあがき あっしの背中めがけてブーブーわめく  
南無三 暗渠あんきょは八フィート先でヘドロがふさいでいる  
二十分もえげつない悪臭のなかだよ旦那 骨の髄まで凍る思いさ  
奴の鼻はあっしを引っ張りだそうとしきりに足を狙ってやがるのだ 20

象の奴もうちょっとのころでしくじってくれたが おかげであっしの毛は恐怖で真っ白  
そのうち象使いたちがやってきて 奴を引きずり連れ去ったってわけさ  
そこであっしは 市のお偉方のところへ行き 手短に話した  
当局は直径四フィートもある下水管を掃除した もう詰まることもあるまいとよ

露天の下水溝や 芥<sup>あくた</sup>を天日で乾かすのが上策と思うだろう 25  
そんなことすりゃ タニシの干物にされちまうよ  
あっしは絶対暗渠派<sup>あんきよ</sup>だね これが象に殺れず<sup>やら</sup>死亡率が低いってわけよ  
まさかって じゃあいっぺん象に追われてみなよ 納得がいくさ

(榊井幹生訳)